

今大会は、新型コロナウイルスの影響により、来賓を招かず、ジュニアリーダーの表彰・壁新聞表彰も行わない形での開催となりましたが、各市町より76名の育成者の方々が参加してくださいました。研修会では、松田勇二氏、後藤善明氏のお二方をお招きし、インリーダ活動や失敗から学んだ育成指導についてのお話を聞き、今後の子ども会活動や育成指導の在り方について考えさせられる研修会となりました。

その後のグループワークでは、事例発表についての質問、感想発表のほか、各市町子ども会の意見交換を行い、考え方の違いや実情にあったやり方などを話し合い、課題を共有しました。各市町にとって、子ども会の現状を今一度振り返られる非常に有意義な時間になりました。



参加者の声

コロナ禍の中での活動の難しさやもどかしさを共有できた。

子ども達の充足感、貢献感のある活動になれば参加意欲の向上につながると思った。

子どもの手による子ども会のあり方が具体的に聞けた。

「失敗しました」という発表はなかなか聞けないので、貴重だった。

子どもの自主性を育てる大切さを再認識できた。

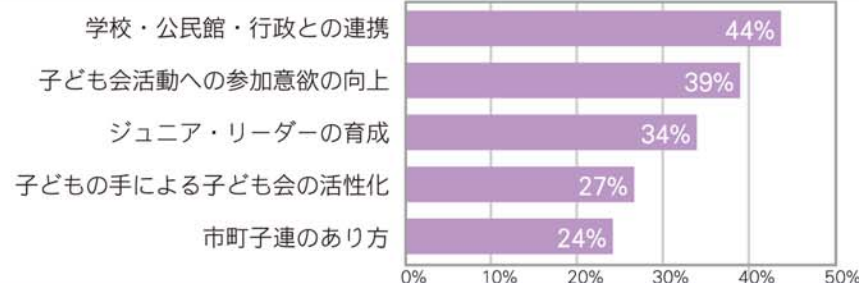
コロナ禍という活動しづらい現状でどうすれば安全に実施できるかなど工夫していることが聞けた。

子どもはお客ではなく主体的に動けるようにサポートをすることが大切であると思った。

インリーダの育成が大事と感じた。(※インリーダとは……ジュニアリーダーを目指す小学校高学年のことです)



今後取り上げて欲しい上位テーマ



1. 研修会について (人)

非常に良かった	12
良かった	28
内容に興味が無い	0
その他	0

2. 事例発表について (人)

非常に良かった	15
良かった	25
内容に興味が無い	0
その他	0

夏休み工作教室

今年の夏休み体験事業は、お菓子箱を使っての段ボール迷路作り。新型コロナウイルス感染防止のため、色々な約束事を守りながら開催しました。ビー玉が落ちる穴を多くしたり、転がるビー玉が見えないように屋根を付けたりと数々のアイデアや工夫を凝らして迷路を作りました。高学年になるとスタートとゴールに旗を立てたり、爪楊枝で橋を作るなどハイレベルな作品に仕上げていました。短い夏休みでしたが、友達と過ごせた一つの良い思い出になりました。



お菓子箱を使って段ボール迷路を作ってみよう!!

Zoom体験 ビギナーズセミナー

コロナ禍の中、Zoomなどのツールを使ってのミーティングが増えつつあります。やってみたくて「難しい」と感じている方のために、初めての方でも参加しやすい内容で「第1回 Zoom体験」「第2回 基本的な操作を中心とした体験」「第3回 基本的な操作のおさらいと応用編」と3回にわたって研修会を開催しました。とても丁寧な内容だったこともあり、参加者の方からは大変好評をいただきました。皆さんワイワイと楽しくオンラインミーティングを体験することができました。



壁新聞コンクール 美浜町子連表彰式

これまで参加者がいなかった県子連主催の壁新聞コンクールに出品できるよう、美浜町独自の表彰項目を決めて、壁新聞の募集を行いました。この日はジュニアリーダー奨励賞の伝達表彰と合わせて、たくさんの参加者の前で表彰式を執り行うことができました。

地域と家族の結びつきを兄妹でまとめた新聞、大好きな生き物をカラフルにかわいく表現した新聞、とても素敵な作品を美浜町で表彰し、県子連へ出品しました。こういった状況下で従来の取り組みができない中、何回も理事会を重ね、新しい美浜子連の一步を記すことができたのではないかと思います。



勝山市子ども会親善お楽しみかるた会

毎年、地区子ども会の団体戦で行われていた百人一首の大会。今回は大人も子どもも参加して個人戦で交流会を開催しました。

受付では参加者、保護者はマスク着用で入館。検温と9項目のチェックをし、試合前・試合後に手指消毒、試合ごとにかかるたの取り換えなどコロナ感染防止対策を徹底して試合に臨みました。

試合方法は「親子かるた」「源平戦」。対戦は、勝って子どもの笑いあり、悔しがる大人あり。半日だけの交流会でしたが、参加者の真剣に戦う姿はとても清々しく感じました。

